

令和6年度 指定管理者セルフモニタリング評価書

指定管理者:株式会社有隣堂

1 基本情報

施設名	綾瀬市立図書館
施設の設置目的	市民の教養の向上及び文化の発展に寄与する。
指定管理者の名称	株式会社 有隣堂
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)
指定管理上の目標	5年間で利用者数:120,000人 貸出点数:450,000冊 登録者数:21,000人を目指す。

2 利用状況

利用状況等の推移	対象年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	利用者人数	107,643	82,509	103,749	99,943	98,575	94,145
	貸出点数	399,969	307,569	378,184	357,741	339,998	322,665
	登録者数	20,186	19,268	18,591	17,609	16,898	16,178
	予約数	49,613	53,629	56,979	51,832	48,960	47,012
	蔵書等回転率	1.53	1.20	1.47	1.39	1.32	1.26

3 管理経費等

(単位:円)

令和6年度指定管理者の収支状況	計画(年間)		実績(年間)	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指 定 管 理 料	103,000,000	指 定 管 理 料	103,000,000
	コ ピ ー 利 用 料	18,000	コ ピ ー 利 用 料	8,460
	そ の 他	0	そ の 他	0
	収 入 合 計	103,018,000	収 入 合 計	103,008,460
	<支出の部>		<支出の部>	
	事 務 費	2,354,000	事 務 費	2,094,224
	事 業 費	1,765,000	事 業 費	1,502,994
	人 件 費	62,518,400	人 件 費	63,611,470
	物 件 費	22,738,400	物 件 費	22,903,040
	そ の 他	13,642,200	そ の 他	12,896,732
	支 出 合 計	103,018,000	支 出 合 計	103,008,460
<収支差>		<収支差>		
収 入 合 計 - 支 出 合 計	0	収 入 合 計 - 支 出 合 計	0	

4 業務評価

事業項目	事業内容	評価結果	
		評価	特記事項
利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・開館日数の拡大 ・広域利用：県央8市1町1村及び藤沢市 ・アウトリーチプロジェクト ・移動図書館運行 ・電子図書館 ・市役所・各地区センターの屋外返却ポスト管理 ・商業施設及び、自治会館図書返却ポスト管理運用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・返却ポストの増設による資料回収力向上
蔵書点検	<ul style="list-style-type: none"> ・特別整理期間 6日間(9月7日～12日) 	B	
広域利用	<ul style="list-style-type: none"> ・県央8市1町1村及び藤沢市との広域利用を実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・貸借倍率1.9倍
児童サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館おはなし会の開催／中央公民館・各分室(通年) ・Hello!えいごひろば(通年) ・あかちゃんのとしょかん(通年) ・絵本ふれあい事業 読み聞かせ講座(通年) ・ブックスタート(通年) ・出前おはなし会(随時) ・しょうがくせいおうえんキャンペーン(3月～5月) ・こどもの読書週間おはなし会(5月) ・パスファインダー「ピッキーのあしあと(児童向け)」(7月) ・定例以外のおはなし会(7月、10月、12月、3月) ・としょかんスタンプラリー(7～12月) ・としょかんたんけん(8月) ・布えほん展 (10～11月) ・おはなし会まつり(12月) ・ピッキーの本棚(小学生向け) vol.3発行(3月) ・りんごの棚 ・マタニティブックリスト発行 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・英語による読み聞かせ講座を開始 ・児童向け図書リストを新規作成
学校連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館担当者会議・学校司書連絡会議への職員派遣 ・学習支援・調べ学習支援(選書と学校支援貸出) ・学校図書館整備の支援 ・学校訪問による図書館の活動を授業で説明(12月) ・学校向けリサイクルブック提供(2月) ・市内小中学校国語科授業成果物の展示 ・放課後児童クラスへの電子図書館団体利用案内 ・施設見学受入(第3四半期3校) 	A	
YA(ヤングアダルト)サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・YA掲示板設置 ・YA通信発行(年4回) ・職場体験学習の受入(11月) ・電子図書館団体利用案内 ・パスファインダー「ピッキーのあしあと(中高生向け)」(3月) 	B	

事業項目	事業内容	評価結果	
		評価	特記事項
シニアサービス・障がい者サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「ほんわか」の発行 ・シニアセカンドライフ作品随時募集 ・大活字本の収集 ・時代小説リストの発行 ・高齢者施設訪問貸出・配本(通年) ・リーディングトラッカー館内・館外貸出実施 ・拡大読書器の利用 	B	
	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者サービス ・宅配サービス ・視覚障がい者への郵送サービス ・視覚障がい者対面朗読サービス ・アクセシブルライブラリーの利用 	B	
読書普及	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展示(テーマ・時期ごとに随時実施) (本館、分室、地区センター等) ・書庫開放日(通年) ・本館リサイクルブックコーナー設置(通年) ・「としょかんフェスタ」(5月) ・大人のためのおはなし会(6月) ・出張リサイクルブックフェア(11月、12月) ・図書館の達人講座 「【行政書士会×図書館】終活について知ろう」(11月) ・おはなし会講座(1月、2月) ・本の福袋(1月) ・電子図書館運用 ・米海軍厚木航空施設図書館との蔵書交換および館内展示(9月、12月、3月) ・図書館おはなし会ボランティア会議(3月) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・出張リサイクルブックフェアの拡充 ・米海軍厚木航空施設図書館との交流を開始 ・市役所との連携展示 「連携展示 映画「愛に乱暴」公開記念」、「綾瀬市生涯学習都市宣言30周年記念展示「読み継がれる絵本展」
生涯学習の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・パスファインダー「ピッキーのあしあと(一般向け)」(3月) ・郷土資料電子化 ・市民・利用者から郷土資料(映像・画像他)提供受付(随時) ・国立国会図書館他データベース利用 	B	
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館広報誌発行(情報発信・PR) <ul style="list-style-type: none"> - 図書館だより(毎月) - ピッキーだより(年4回) - YA通信(年4回) - ほんわか(年4回) - 分室だより(年2回) ・図書館ホームページ、SNSによる情報発信 ・本館内デジタルサイネージの活用 ・広報あやせ(月2回) ・マスメディアへの情報提供(随時) ・市庁舎内に図書館広報物の掲示 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川新聞・タウンニュースで厚木基地蔵書交換の記事掲載 ・広報あやせにブックスタート掲載
予約サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・予約サービスの実施 	B	
分室の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な蔵書入替の実施 ・遞送車の運行 ・分室独自の展示の充実 	B	

事業項目	事業内容	評価結果	
		評価	特記事項
配本サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校10校、地区センター3カ所 ・児童館3カ所、保育園15カ所、幼稚園7カ所 ・子育て支援センター3カ所 	B	
生涯学習推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回(9月開催) ・第2回(2月開催) 	B	
図書館年報の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度図書館の概要(4月) 	B	
夜間警備	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラによる警備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全確保
環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇の植栽維持管理 ・バラのアーチ維持管理 ・モビールの維持管理 ・図書館内への写真展示 ・館内に季節の装飾工作等を展示 ・第2工作部の募集 ・タブレット設置(本館2台、分室各1台) ・図書除菌機設置・運用 ・カウンター案内サインの刷新 ・バリアフリー対策として入口のスロープ段差を解消 ・屋外の図書館看板の設置 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外の図書館看板の設置
図書費の執行	<ul style="list-style-type: none"> ・図書費の適正執行 	B	
選書	<ul style="list-style-type: none"> ・見計り選書を実施 ・毎週火曜日に選書会議を開催 ・多言語絵本を専門書店より取り寄せ、現物を選定し購入 	B	
装備	<ul style="list-style-type: none"> ・館内装備を実施 	B	
国際資料の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語資料コーナー設置 ・タイ語資料の寄贈 	A	
利用者の要望の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見箱の設置 ・「利用者の声」の収集と活用 ・利用者アンケート調査の実施 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート調査結果(総合満足度)は69%を推移
司書の配置	<ul style="list-style-type: none"> ・常時窓口に司書を配置 	B	
繁忙期の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・シフト変更等によりスタッフを増員 	A	
職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・館内研修の実施 ・館外研修の参加 	B	
情報の共有・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・ミーティングの開催 職員会議 全体会議 リーダー会議 	B	

事業項目	事業内容	評価結果	
		評価	特記事項
綾瀬市への事業報告	<ul style="list-style-type: none"> ・月間報告書 ・年間報告書 ・事業報告会 令和5年度通期活動報告会(6月) 令和6年度上半期活動報告会(11月) 	B	
セルフモニタリング会議	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期ごとに実施 前年度第4四半期(4月) 第1四半期(7月) 第2四半期(10月) 第3四半期(1月) 	B	
市民や市内団体の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージ運用 ・ボランティア団体との定期ミーティング(随時) 	B	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者登録データの管理・除籍の実施 ・節電対応(クールビズの実施) ・第3次綾瀬市子ども読書活動推進計画に関する委員派遣 ・北の台休館に伴う対応 	B	

評価	基準
A	計画以上に成果があった。
B	計画どおり実施できた。
C	改善を要する。

5 指定管理者コメント

指定管理者評価

1 事業の概要

・利用者数、貸出数は微減傾向が続いている。電子図書館についても利用者数は減少するも、貸出数は増加となった。人数を制限されていたイベントや講座に関しては、感染症対策緩和措置により利用者が戻りつつある。

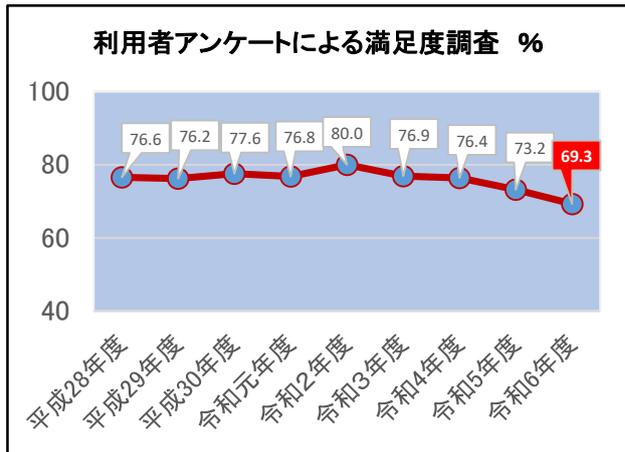
・サービスの充実として、英語による読み聞かせ講座を開設。利用者自ら資料の活用を広める活動として取り組んでいる。

・地域交流の一環として、米海軍厚木航空施設図書館との蔵書交換を実施した。



●利用者アンケート調査

例年実施しているアンケート調査の総合満足度数は、前年比較で4%減少し、69.3%と7割を下回った。改善を求める声として、意見の多くは施設、設備面であり、具体的に開架蔵書数の少なさ、駐車場、館内などのスペースが狭いとなっている。



2 指定管理料の執行

・令和6年度は看板の新設や米海軍厚木施設図書館との交流事業のための予算などが令和5年度からずれ込み発生。
 ・最低賃金や物価高騰による予算の圧迫があったが、本部経費や事務費の節約によって予算内に収めた。今後も資材高騰と人件費の高騰が予測されるため運営方法の見直しを順次行う。

3 次年度の課題

・読書普及を充実するために、サービスおよび行事等の運営体制の整備。

・北の台図書館建替えに伴う休館に続き、南部ふれあい会館の設備交換に伴う休館による移動図書館及び返却ポストなどサービスポイントの代替対策。

・カウンター案内サインなどソフト面による環境整備の見直しと改善の実施。

6 第三者による評価

第三者評価

1. 図書館資料

(1) [本・雑誌]

選書、資料整備は十分になされている。コロナ後の対応として引き続き北の台図書室の整備など、少子高齢化、障がい者、在留外国人、電子書籍利用者の利用動向をふまえた対応に配慮してほしい。

(2) [AV-CD/DVD・紙芝居等]

選書、資料整備は十分になされている。今後は少子化の影響を鑑みながら、利用状況の分析をすることでCD/DVDのや紙芝居の利活用をしていくことが必要。

(3) [電子書籍]

書籍の刊行状況、利用状況に注目して収集、提供し、引き続き普及に努めることが必要。

(4) [郷土資料]

地元でしか収集できない郷土資料、地元行政資料の収集、保存、活用は引き続き必須で行うべき事項。また、デジタル化を進めていけるとなお良い。

(5) [除籍と活用]

除籍に関しては順調。将来的なスペースの確保が望まれる。活用についてはリサイクルに可能な施設での再活用に努めてほしい。新刊だけでなく古い発行年数の所蔵本(廃棄になりうる本)の活用も高齢化の時代では需要が見込まれる可能性がある。

2. 図書館サービス

(1) [一般成人]

コロナ後急速に進む少子高齢化の中、将来の児童の比率が減り、成人層の利用が増加すると考えられる。今後の利用者の角地を図るために、不読者(10, 20代)の解消、障がい者、外国人、来館できない人への対応が求められる。

職員の接遇、サービスという面での読書環境は良好であると評価できる。

(2) [児童]

児童に向けたサービスは充実していると評価できる。少子化に伴い、児童の数の減少は続くと考えられる。一方その動向は注視しつつ、生涯にわたり学び続けるという生涯学習の基本的、基礎的なサービスとして、児童・青少年の同行に注目し、不読者層の現象に学校図書館などと連携して対応に努めてほしい。

(3) [高齢化]

今後の利用者の主体は高齢者となる。80歳以上の利用者も増えてくる傾向にある。蔵書だけではなく、読書環境の改善、来館できない利用者への対応など関連機関と連携しながら対応し、引き続きサービスの充実を図ってほしい。

(4) [障がい者]

高齢化社会における障がい者は増加していくと考えられる。館内外のサービス、バリアフリー化、障がい種別への対応、アクセシブルライブラリーの進展に引き続き努めてほしい。

(5) [アウトリーチ他]

館内サービスにおいては滞在型の検討、来館できない利用者については様々な利用者に対する対処法、関連機関との連携、ボランティア市民からの支援・協力を求めていく必要がある。また、厚木基地の連携の充実を長い目線で少しずつ進めていけると良い。館内外のサービスに加え、図書館に来るのが困難な人への対応は高齢者増加も踏まえて対応の仕方など検討を継続してほしい。

3. 運営・管理

(1) [施設・設備]

本館の施設の面積は県央八市のうちでも狭小。アクセスの問題もあり、現状ではできることを模索するとともに将来的な市内全域のサービスを向上させる対策を考えることが求められる。設備としてはバリアフリーに適していない部分もあるため、今後の建て替えなどの改良が強く求められる。

(2) [開館時間等]

分室の運営時間延長など問題なく遂行できている。北の台図書室の代替事業(移動図書館)などの活動を踏まえ利用者の利便性を検討してほしい。

(3) [広報]

コロナ後の活動について市民への周知が必要。図書館の存在、読書の意義などを伝える機会を作ってさらに広報してほしい。

(4) [学校・地域との連携]

市役所各部署や学校図書館などとの連携、地域交流に関連する団体等と連携し、引き続き図書館の役割を実践してほしい。

(5) [市民協業・ボランティア]

図書館は市民のものであり生涯学習の根幹となる施設である。引き続き市民の協力を得ながら事業を行い、互いの信頼関係の構築に努め、市民一帯の図書館であり続けることを期待する。
施設設備の不備を改善しつつ、読書環境の良さ、職員の専門的サービスの満足度をさらに向上させていってほしい。

4. その他

(1) [滞在型スペース]

高齢者の利用が増えれば休養できる空間の需要、また飲食のスペース、読書室、自動貸し出し機の設置、CD・DVDの閲覧環境などの需要が増えることとなり、既存のスペースに加えることを将来的課題として検討してほしい。

(2) 専門性と継続性

職員の専門性は利用者に評価されていると思われる。その専門性を生かして図書館サービスに努め、生涯学習施設として市民の信頼を得ていくようお願いしたい。

◎評価

コロナ禍を経る中、図書館の管理運営は十分になされたと評価できる。施設・設備など早急な対応が困難であるが中長期的な展望を視野に入れつつ、少子高齢化を主とした視野に入れた対応をお願いしたい。市民と協働して信頼関係を築く図書館作りに引き続き努めてほしい。

元神奈川県立図書館職員

石井 敬士